

記入例（前年度以前に申告された方）

前年度までの申告内容から増加した資産を記載してください。

令和〇〇年度											所有者名		1 枚のうち				
所有者コード											吉税 償資		1 枚目				
種類別明細書（増加資産・全資産用）											課税標準の特例		増加事由		摘要		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 (和暦)			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	率	コード	課税標準額	増加事由		摘要
					年号	年	月								1	2	
01	1		コンクリート舗装	1	5	3	02	2,000,000	15						1	2	
02	1		受変電設備	1	5	3	04	2,500,000	15						1	2	
03	6		応接セット	1	4	27	07	400,020	8						3	4	令和3年3月 上峰町より受入
04	6		液晶テレビ	1	5	2	09	710,000	5						1	2	令和3年度 申告もれ
05	6		コピー機	1	5	2	10	1,000,100	5						1	2	1月1日 取得資産
06	6		パソコン	1	5	3	01	300,000	4						1	2	
07																	
08																	
09																	
10																	
11																	
18																	
19																	
20																	
小計				6				6,910,120									

【資産の種類】
以下の数字で記入してください。
1 = 構築物
2 = 機械及び装置
3 = 船舶
4 = 航空機
5 = 車両及び運搬具
6 = 工具、器具及び備品

【取得年月】
3 = 昭和
4 = 平成
5 = 令和
(例)平成25年7月の場合は
「42507」となります。

【耐用年数】
法人税及び所得税における
法定耐用年数を記入してください。

【増加事由】
該当する増加事由を
○で囲んでください。
1 = 新品取得
2 = 中古品取得
3 = 移動による受入れ
4 = その他

3の場合、摘要欄に移動前の
所在地を記入してください。

4の場合、摘要欄に理由を
記入してください。

1月1日に取得した資産は
その旨を表示してください。

注意:「年号」の欄は 3.昭和, 4.平成, 5.令和 それぞれ年号に対応する数字を記載してください。
「増加事由」の欄は, 1.新品取得, 2.中古品取得, 3.移動による受入れ, 4.その他 いずれかに○印をつけてください。